

## 令和3年度北九州市職員採用試験の変更点について

令和3年度より、以下のとおり採用試験制度を変更します。

### 1 社会人向け採用試験等に係るSPI3の導入

- ①4月先行実施枠(旧特別枠)、②行政(就職氷河期支援)、③上級Ⅱ区分(民間企業等経験者枠)にSPI3を導入します。
  - 民間企業を併願する学生や転職(UIJ ターン含む)を考える社会人向けの上記採用試験について、公務員試験対策が不要なSPI3を導入し、受験し易さを高めます。
  - 新型コロナ対策として集合試験を避けるため、WEB テスト方式にて実施することとし、併せて遠隔地居住者や社会人受験者の利便性も高めます。

### 2 4月先行実施の採用試験(特別枠)の見直し

- 教養試験としてSPI3を導入します。(上記1参照)
- 年齢制限の上限を緩和します。(行政:27歳未満→30歳未満、土木・建築:29歳未満→30歳未満)
  - 既卒、第2新卒及びUIJ ターン希望者向けに年齢制限の上限を緩和します。
- グループワークを廃止し、プレゼン資料作成及びプレゼン面接試験を導入します。
- 試験区分名を変更します。
  - 試験内容の見直しに合わせて、「特別枠(行政/土木/建築)」を「行政/土木/建築 I C【プレゼン】」に変更します。

### 3 就職氷河期世代向け試験の継続実施

- 昨年度に引き続き、「行政(就職氷河期支援)」を継続実施します。
- 教養試験をSPI3に変更します。(上記1参照)

### 4 デジタル人材(民間企業等経験者向け)の募集

- 『デジタル市役所』の実現に向けて、AI・RPAの活用拡大などDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進していくうえで、ICT(情報通信技術)に通じたデジタル人材を採用するため、民間企業等経験者向けの試験を実施します。

### 5 試験区分「農学」の設置

- 近年、農学系分野を専攻する学生向けの試験区分として、「造園」区分の募集しかなかったことから、これらを専攻する学生が受験しやすいよう、従来の「造園」「農業」「林業」区分を統合した「農学」区分を設置します。(第1次筆記試験の専門試験において、各分野から選択して受験。)

※詳細は、本市職員募集ホームページにて、今後公表する試験案内等をご覧ください。